



第493回 11/4 (火)

「みんなの図書館 フィーカ」

出演 今井恵子さん(館長) 高橋 直美さん(副館長)

地域や多世代の方が一緒になって育児ができる場所があれば…そして誰でも入れて自分らしく居られる場所を作りたいという想いが以前からありました。今井さんは、実家の近くの「みんなの図書館」に行ってみて、このような図書館がもっと近くにあっていいなと思いました。これらの想いがつながり、静岡県発祥の「一箱本棚オーナー制度」を導入した私営の図書館「みんなの図書館フィーカ」がこの夏に誕生しました。



高橋さんは、子どもだけでなく地域に住む方も安心していられる場所が鶴間にもできるかなという思いから一緒に活動することになりました。

「一箱本棚オーナー制度」とは、一箱の本棚を月に2千円で借りてオーナーになり、その一箱にその方が好きな本や自分の作品を並べて、自分を表現することができる場です。「フィーカ」(スウェーデン語でティータイム)には現在38名のオーナーがいてそれぞれに選ばれた本が並んでいます。

「みんなの図書館フィーカ」は自分の利用したい方法で、楽しく利用できます。読書に、おしゃべり、カフェ、イベントなど自分らしい使い方ができます。最初はドアを開けるのに勇気があるかもしれませんが、是非、本に興味のない方も、美味しいお茶を飲みに来てください。

☆12月の出演 第495回 12/2(火) 一般社団法人「日本スティック競技振興協会」 第496回 12/16(火) 「大和市手をつなぐ育成会」

FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

TSUBASA's トーク 第50回 「秋の宮ヶ瀬湖でランニング」

僕はスポーツをするだけで喜ばれる恵まれた人種のような。京都マラソンを完走した時、祖母に写真を送るとすぐに電話がかかってきて、「仕事をしながらマラソンにも参加して、ばあちゃんは誇りに思うよ」と言われ、嬉しかった。また、伴走ボランティアを続ける中、広島に住む友人とも再会し、しまなみ海道を二人乗り自転車走った。「めっちゃ気持ちいい!!」と風の中で聞いた弾んだ声が耳に残っている。



こうした体験を重ねる中、もし自分が一緒にスポーツをするなら、どんな人が良いかを想像した。

「一歩難しいことに挑戦する姿勢を持った人」「難しい環境に置かれても笑い飛ばせるような澁刺さを持った人」になりたいと思った。

そこで半年ほど前、東南アジア最大の大会であるシンガポールマラソンに挑戦することを決めた。

異文化の舞台で過去の自分を超越するために、神奈川で練習を始めた。11月の晴れた日、紅葉をみながら練習したいと思い、宮ヶ瀬湖を訪れた。左側に湖を眺め、右側の山は

黄色やオレンジ、赤に色づいていて、湖の周囲の舗装道を走るペースも自然と上がっていった。紅葉した木の下を潜るように走ると、10人くらいのシニア世代のハイキンググループとすれ違った。軽く会釈をすると、一人の女性に「えらいねえ～」と褒められた。

チャホヤされるとペースもさらに上がった。だが距離が伸びるにつれてペースを維持するのが次第に辛くなってきた。すれ違うのも車道を走るツーリストやドライブ客ばかりで、紅葉もずっとみていれば感動が薄れる。



第494回 11/18 (火)

やまと国際オペラ協会 (YIOA)

出演 長谷部浩士さん(会長)、箕輪健太さん(指揮会員)

丹呉由利子さん(ソリスト会員・藤原歌劇団正団員)

「やまと国際オペラ協会」(2015年設立)で今年10周年。オペラや音楽を原語で楽しむ、理解する、市民の方々に聴いてもらって、国際交流ができればいいという意味合いで「国際」が名称に入っています。

2016年に、シリウス開館を第九で祝うことを皮切りに、大きなコンサートを継続して開催。2024年には、ヴェルディのイタリアオペラの最高峰と言われるドン・カルロを、5時間にも及ぶオリジナル版を上演。演出家が体調不良で交代するというハプニングが土壇場であったが、団員一致団結して乗り越えて来ました。(長谷部さん談)

来年1月11日(日)に「ニューイヤーオペラ ガラコンサート」を、10周年を記念して開催。指揮の箕輪さんは、「見どころはRワーグナーとヴェルディの同い年の作曲家の曲を同時に聴けること。是非お越しください。丹呉さんは、「ガラ」はメインディッシュ

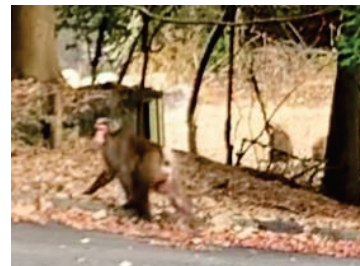
をひたすらかき集めてというところなので、やる方は大変ですが、聴く方には、知っている曲、楽しい曲の豪華なものなので、気軽に楽しみに来場いただければ嬉しい。長谷部さんは、このコンサートは2027年の先取りもあり、オペラビール(またはソフトドリンク)をイベントコップで提供し、コップは記念品として持ち帰ることができる10周年企画もあります。是非、おいでください。



京都マラソンの時は大勢のランナーや沿道の応援に囲まれて走ったのに、今は励まし合う人もいない。「マラソンは孤独なスポーツ」という表現もわかる気がした。

実際、シンガポールマラソンの参加者の多くはインドネシア人とフィリピン人、マレーシア人で、僕は明らかに外国人として参加する。大会要項と申し込みはすべて英語で、朝4時30分から始まるレースに間に合うための現地の交通機関についても全く知識がなかった。この確信が持てない不安感を日本に住む外国人も感じているのだろう。

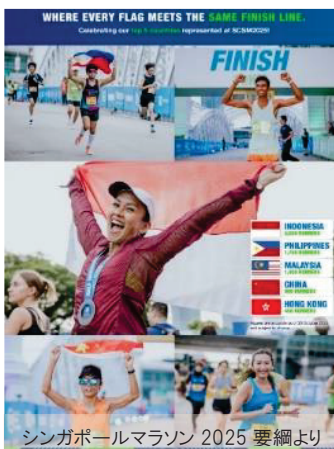
ふと顔をあげると、なんと道沿いの木の根元で、サルが腰かけてぼんやり僕を眺めていた。周りの木々がガサガサと揺れていて、群れていることがわかる。警戒されないようにペースを徐々に緩め、歩いて通り過ぎた。



サルも近くの小川の方に歩いていった。外国人には危険が多いことを知った。こうした時は、笑い飛ばすのが良い。そんな思いで、シンガポールマラソンに臨む。

(マラソン本番編へ続く)

サポーター 尾畑翼



シンガポールマラソン 2025 要綱より

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第221号 発行日: 2025年12月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

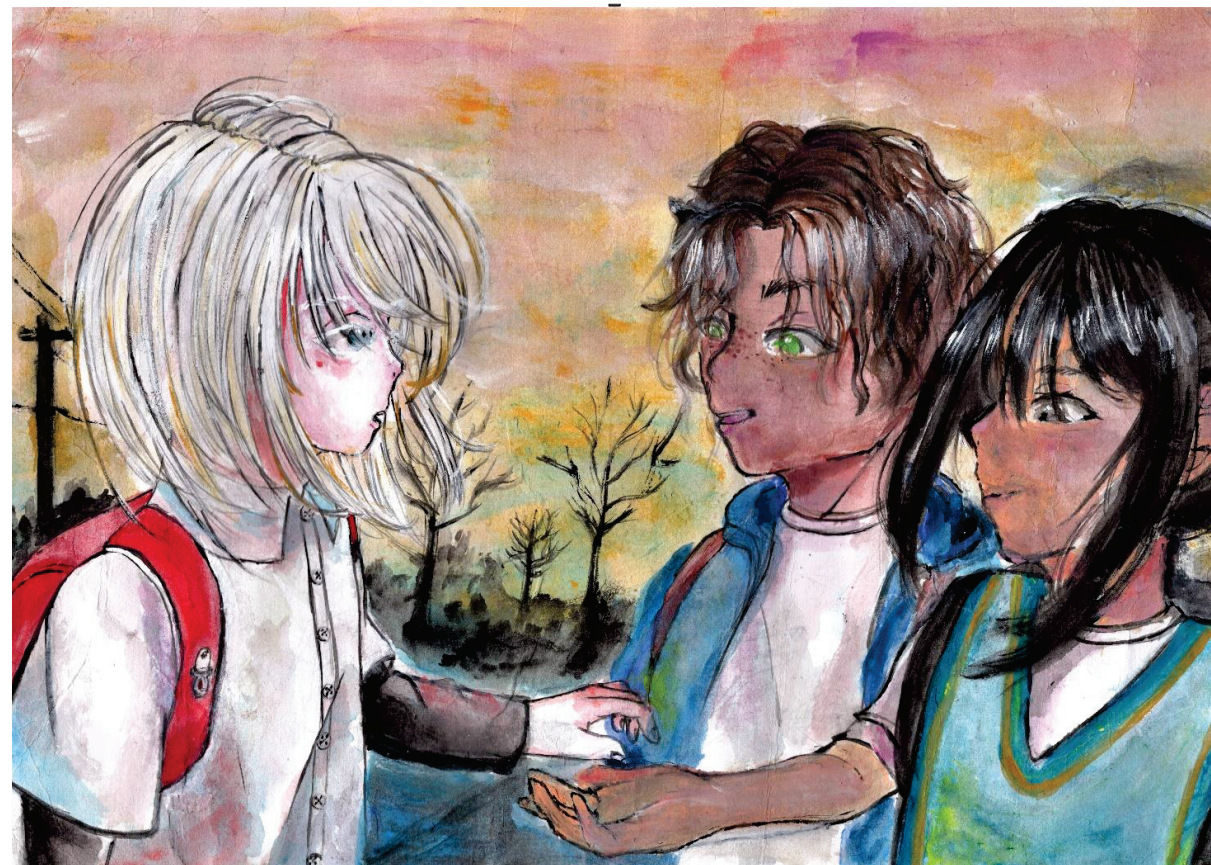
あの手この手のマークの間のSIは solution(解決)のSです。

第221号 2025年12月10日 大和市民活動センター[拠点やまと]発行



12月
2025

ペテルギウス玄関
12月2日の生け花



第18回 やまと国際アートフェスタ

募集テーマ 世界はいろいろ 「やまと国際フレンドクラブ賞」受賞作品

大和東小学校 6年生 佐藤珠亜 さん

タイトル 色で決まること?

メッセージ 3人の小学生たちそれぞれ違う特徴があっても、理解して接しあえる友達同士ということを絵に表したいと思い描きました。

表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催 やまと国際アートフェスタ の入賞作品を毎月掲載しています

☆ やまと国際アートフェスタは「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)の主催で毎年開催されています

☆ IFCは、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです

2025~2026 年末年始

大和市民活動センター 活用スケジュール

27 28 29 30 31 01 02 03 04 05
土 日 月 火 水 木 金 土 日 月

(注)	(注)	従来の年末年始休館	(注)	平常通りの年明け業務
会議室予約の方は必ず鍵を取りに来て下さい!	★「部室」使用可 会議室は鍵が必要	ペテルギウス会館自体閉館となります。	★「部室」使用可 会議室は鍵が必要	

令和7年度「大和市防災とボランティア展」

毎年1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日~21日は「防災とボランティア週間」です。市は、災害への備えの充実・強化を図ることを目的に、大和市防災とボランティア展を開催します。ボランティア団体の災害時に備えた活動等を紹介し、自主的な防災対策活動の重要性やボランティアの意義について認識を深めてもらう機会としています。

とき 1月17日(土) 午前10時 ~ 午後3時30分
ところ 大和市文化創造拠点シリウス やまと芸術文化ホール ギャラリー 申し込みは不要です

《問い合わせ》市役所 つながり推進課 市民活動サポート係
電話(260)5103 FAX(260)5138

市民活動支援に寄付をいただきました

寄附は、NPO 法人や公益社団・財団法人、ボランティア団体などの非営利組織が社会課題の解決に取り組む上で重要な活動原資のひとつです。NPO 法人の財源には主に会費、寄附金、補助金・助成金、事業収益があり、認定・特例認定法人では「寄附金」(48.2%)が重要な財源となっています。(内閣府 HP より)

そんな中、当市民活動センターにおいては、11 月に 2 団体からの寄付をいただき、二つの団体にお渡しする中間支援的な役割を果たしましたのでご報告いたします。

明治ホールディングス株主優待から サポートハウス ワン・ピースが主催する放 課後等デイサービス事業へお菓子を寄附

明治ホールディングスでは、株主の日頃の支援、愛顧に感謝し、株主優待を実施していますが、株主の意志により優待品(お菓子)の送付に代えて同等品を福祉団体等へ寄贈する「寄贈選択制度」を 2006 年度より実施しています。

2024 年度は、能登半島地震および東日本大震災をはじめとする各被災地復興支援団体および全国の障がいのある児童の支援団体等、合計 394 団体へ、寄贈をしました。

この制度を活用して、当センターでは、毎年、発達に課題を持つ子どもたちが学校が終わってから来所する事業を実施している「特定非営利活動法人 サポートハウスワン・ピース」を推薦して、明治ホールディングスからいただいたお菓子をお渡ししています。

来年度以降、このお菓子いただきたいという障がいのある子どもたちを支援している団体がありましたら、市民活動センターまでお申し出ください。

サポートハウスワン・ピース 滝本美知留さんから



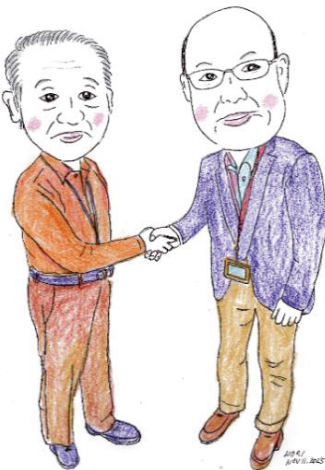
いつもワン・ピースの子どもたちのことを気にかけて応援していただきありがとうございます。

今年も市民活動センターさんの仲介で明治ホールディングス株主様からのお菓子の寄贈品をいただくことができました。

子どもたちの大好きなお菓子がいっぱいです。クリスマスのお楽しみのひとつとして提供させていただきます。皆様の温かいお気持ちが大きな励みになります。ありがとうございました。

株式会社ジェイコム湘南・神奈川相模原・ 大和局から 一般社団法人こども食堂プロジェクト at やま とたまめし食堂が開催する「たまめし食堂」事 業へ寄附

去る 11 月 11 日に株式会社ジェイコム湘南・神奈川相模原・大和局長の西生篤^{にしおあつし}様(イラスト右)が来館され、大和商工会議所主催の「やまと産業フェア 2025(11/8,9)」のサービス業部会ブース内の「株式会社ジェイコム湘南神奈川」の売上金 46,500 円を市民活動に役立てていただきたいと来館され、こども食堂事業へという意味を示されましたので、「たまめし食堂」事業に寄付させていただくこととなりました。



師走歳時記 新しい年を迎える準備に何かとせわしない12月。 その伝統は残したい!?

先生も走ると言われる師走。2025 年ももう終わるの? って感じですが、戦後 80 年とか、日韓国交正常化 60 周年という年のはずでしたが、どんな検証があつのか? といえ、? と考え込まずを得ず。日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が 2024 年にノーベル平和賞を受賞したことが一瞬のことだったように世界では戦禍が広がる一方で。今年の厳しく長く続いた酷暑のおかげで、秋がなかったような季節を経て、もう 12 月。今回はせめて季節感と思い、年の瀬の行事に想いを馳せます。

文責: 船越英一 イラスト: 望月則男



すす払い

普段掃除の手伝いをしない... 母に言われてやったのが、はたきを使っての高い所の埃落とし。結果的に埃を巻き上げていただけの気がするけれどあれをすす払いというのだろうか?

除夜の鐘

A の家から 15 分程度の天満宮には、だれでもつける鐘がある。「ごおおおんんつーーん」の後の高い余韻が心地良く、年が明けた瞬間から、参拝者が鳴らす音が静寂を切り開く。寒くて、夜寝ずには初詣には行かない人だったので、こどものころは、鐘を聞きながら寝入った。でも、最近では家が立て込んだせいか、聞こえにくくなった。

冬至

冬至のときは、一年でいちばん南側の東からのぼり、お屋には南中高度が一年でいちばん低いところを通して、一年でいちばん南側の西に沈む。そうすると、昼間が短く、夜が長くなる。(実際は、日の入り時刻が一番早いのは、12 月上旬ごろで、冬至の頃は少し太陽は遅く沈む)。「冬至に柚湯に入り、かぼちゃを食べるとよい」と母に教わった。A の家の庭に柚の木が 2 本あるが、うっかりすると枝のとげで、手が傷だらけになる。柿は鳥に食べられるが、柚は鳥に食べられたためしが無い。



年越しそば

お蕎麦好きに年越しそばは欠かせない。よく A は大晦日に手打ちのそばをつゆつきで送ってもらい、海老天を買ってきて天ざるそばにして食べたものだが、除夜の鐘を聞きながらということとはないなあ。



大掃除

一家総出で大掃除。このイラストのように、楽し気にやっていた家庭はどのくらいあつたのかな。年末は、佐野史郎が「冬彦さん」を怪演して話題になったテレビドラマ(1992 年放映: ずっとあなたが好きだった)などの年末一挙放送などを見ていたのに。「床拭いて、窓拭いて、蛍光灯替えて!」とか母に言われ続けると「後でやるう」などと言って不機嫌だったことを思い出す。

でも、当時 A の家ではお湯も出なかったから、母の手は冬場はあかざれだらけだった。現在ではあかざれは絶滅危惧になったかな。お湯でも手は切れるけど。今更ながら「おかあさん、ありがとう」です。この寒い時期に掃除をまとめてやることはない。普段からこまめにやればいいのです。ほんとにね。



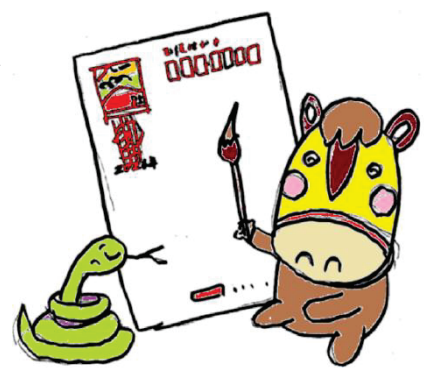
忘年会

12 月、あなたはいつある? 「今週は 3 連ちゃんだよ」、「二日酔いで頭いてええ」、「あの子の隣に座りたい」とか言ったのは遠い昔。今はめっきり少なくなりました。毎日が忘年会という珍しい知人はいるけどね。



年賀状

来年(2026 年)は午年、チョー昔はプリントゴッコ(A はシルクスクリーンでしたけど、で年賀状を手づくりするのに、年末追われた人も少なからずいたはず。なんで年末に「あけましておめでとうございます」なんだよって。めっきり年賀状を書く人も減って、郵政省は痛手だろうな。年賀はがきの抽選は楽しみだったけど、1 等のカラーテレビって当たった人本当にいたのかな。



お節料理の注文

最近は、よくいくイタリアンのお節を大晦日に取りにいつている。その方がお正月家事や、買い物に必要がないから。昔はずっと母が作っていたなあ。で、A は毎年黒豆を炊いているけれどこれがほんとに難しい。そしてトッピングに「長呂儀」。姪っ子が好きだったんですけど、皆さん知ってますか?



某局のあかしろ歌合戦

昔は、大晦日の一大イベントだったなあ。21 時からスタートだったけど、その前にすべてを終わらせて、テレビの前に座って。スポーツ紙の出演者の写真や曲名や血液型を見ながら。最近ではほぼ見ないけど。あの洗脳はなんだったんだ。大昔は視聴率が 80% を超えたこともあらしい。



カッコーフェスタ(市民活動団体交流まつり) 2025 が 12 月 7 日に開催されました。詳細は来月号にて報告させていただきます。



11 月の展示コーナー

やまと国際オペラ協会

共育ボードより メッセージ以外に子どもたちのイラストがたくさん寄せられました

★オペラっていろいろしるし、深いこと多くて知るのが楽しくなりますよね! ★ガンバー! ファイトー! ★オペラいいね ★おうえんしているよ! ★がんばってください! フレーフレー ★がんばりニャー ★大丈夫



NEWYEAR OPERA GALA CONCERT 2026.1.11 シリウスにて開催

市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については市民活動センターまでお問い合わせ下さい。なお 1 月上旬に掲示された「きれいな街からきれいな海に」については 10 月号にてご紹介させていただいているので、そちらをご覧ください。